



進路だより

～将来の自立に向けて～

岐阜特別支援学校 令和6年12月

小学部の進路学習

小学部では、校外学習を通して、公共の場や施設、乗り物の利用の仕方について学習しています。4年生は、10月に岐阜バスに乗って柳ヶ瀬へ出かけました。公共の施設や乗り物を利用し、楽しく過ごすことができるように練習しました。当日は、一般のお客さんがいる場でも、どの子も落ち着いて行動することができました。バスの中では静かに過ごし、降車時は自分で運賃を払いました。ツナグテでは、他に小さな子たちがいる中でしたが、マナーを守って楽しく遊ぶことができました。神田町交番の見学では、警察の仕事やパトカーの秘密についての話を静かに聞くことができました。お昼ご飯は、モスバーガーで自分の食べたいものを注文し、自分でお金を払うことができました。どこでも「ありがとうございました。」とあいさつをすることもできました。



中学部の進路学習

中学部では、作業学習や特別活動の時間を通して、真剣に働くことに努めたり、仲間関係を広げたりしています。

作業学習では、1年生も作業に慣れ、2・3年生と共に担当の作業に取り組んでいます。ふれあいフェスタに向けて、一人一人が自分のもつ力を伸ばしたり、できる作業の幅を広げたりすることを意識して、製品づくりに取り組み、中学部一丸となって頑張っています。フェスタ当日は、これまでの作業学習の取り組みの成果として、自信をもって製品を販売しました。

作業学習以外でも、フェスタに向けて学部全員でソーラン節の練習をして、アリーナで一緒に踊りました。また、たてわり活動として、中学部1・2・3年生での「なかま」の活動も始まりました。それぞれのグループの中で、異学年の仲間と一緒に遊んだり、ダンスをしたりしています。活動の中で、「〇〇さんと一緒に遊んで嬉しかった。次も楽しみ。」と笑顔で話す姿も見られました。様々な活動と一緒に取り組むことで、仲間関係を広げていってほしいと考えています。



高等部の進路学習

6月の第1回就業体験に続き、10月も第2回就業体験に取り組みました。1年生は1回目よりも働くことに慣れ、落ち着いた姿で取り組むことができました。2・3年生は、自分のめざす福祉的事業所や企業で2週間の実習に臨みました。特に3年生のこの時期は、来年の4月からの就労先を確かなものにするために、自分の精一杯の力で取り組む姿がありました。どの学年も、「作業に集中して取り組む」、「自分から挨拶をする」、「分からないことを相談したり確認したりする」、「教わったことを忘れないようメモを取る」など、学校生活で大切にしていることを実習先でも発揮することができました。実習後は、就業体験を通して成長できたことや、今後の課題を振り返り、社会人になるために、学校生活へどう生かしていくかを考えることができました。

